⑵　金融商品の時価等に関する事項

令和７年３月31日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額は、次のとおりです。なお、現金は注記を省略しており、預金、未収金及び未払金は短期間で決済されるため時価が帳簿価額に近似することから、注記を省略しています。

（単位：円）

	貸借対照表計上額	時　　価	差　　額
金銭等の信託 売買目的有価証券	249,782,056,659,620	249,782,056,659,620	—
資　産　計	249,782,056,659,620	249,782,056,659,620	—
運用寄託金	118,074,182,568,351	118,074,182,568,351	—
負　債　計	118,074,182,568,351	118,074,182,568,351	—

⑶　金融商品の時価のレベルごとの内訳等に関する事項

金融商品の時価を、時価の算定に用いたインプットの観察可能性及び重要性に応じて、以下の三つのレベルに分類しています。

レベル１の時価：同一の資産又は負債の活発な市場における（無調整の）相場価格により算定した時価

レベル２の時価：レベル１のインプット以外の直接又は間接的に観察可能なインプットを用いて算定した時価

レベル３の時価：重要な観察できないインプットを使用して算定した時価

時価の算定に重要な影響を与えるインプットを複数使用している場合には、それらのインプットがそれぞれ属するレベルのうち、時価の算定における優先順位が最も低いレベルに時価を分類しています。

②　期首残高から期末残高への調整表、当期の損益に認識した評価損益

①　時価をもって貸借対照表計上額とする金融資産及び金融負債

（単位：円）

区　分	時　　価			
	レベル１	レベル２	レベル３	合計
金銭等の信託 売買目的有価証券	—	245,594,351,770,606	4,187,704,889,014	249,782,056,659,620
資産計	—	245,594,351,770,606	4,187,704,889,014	249,782,056,659,620

②　時価をもって貸借対照表計上額としない金融資産及び金融負債

（単位：円）

区　分	時　　価			
	レベル１	レベル２	レベル３	合計
運用寄託金	—	118,074,182,568,351	—	118,074,182,568,351
負債計	—	118,074,182,568,351	—	118,074,182,568,351

（注１）　時価の算定に用いた評価技法及びインプットの説明

金銭等の信託

金銭等の信託の信託財産の構成物である有価証券については、資産管理機関から提示された価格によっています。

なお、当法人の特定運用信託契約に基づき信託契約単位ごとに資産管理機関より提示された価格は、レベル２又はレベル３の時価に分類しています。

運用寄託金

運用寄託金については、決算日に要求された場合の支払額（帳簿価額）を時価としており、レベル２の時価に分類しています。

（注２）　時価をもって貸借対照表計上額とする金融資産及び金融負債のうちレベル３の時価に関する情報

①　重要な観察できないインプットに関する定量的情報

当法人自身が観察できないインプットを推計していないため、記載していません。

（単位：円）

	期首残高	損益に計上（＊）	配分・回収額の純額	レベル３の時価への振替	レベル３の時価からの振替	期末残高	当期の損益に計上した額のうち貸借対照表日において保有する金融資産及び負債の評価損益（＊）
金銭等の信託 売買目的有価証券	3,697,236,767,200	230,311,132,545	260,156,989,269	—	—	4,187,704,889,014	113,213,855,368

（＊）　損益計算書の「資産運用損益」に含まれています。